



# 横田小だより

平成25年10月3日発行

高岡市立横田小学校

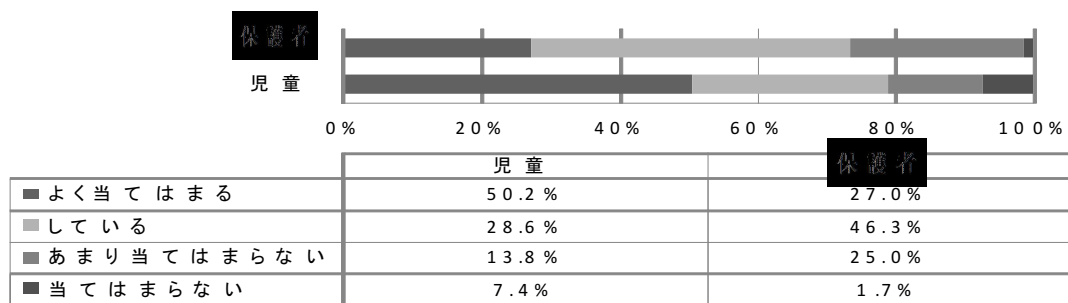
## 「あったか活動」を充実させたい

教頭 原野 克憲

学校では、思いやりがあり、進んで奉仕する温かな子どもを育てるために、相手のことを考えて自分で決めたことを実行する「あったか活動」を進めています。この活動は、学校教育目標にある「生きる力を身に付け、心豊かで心身ともにたくましい子どもの育成」を達成するために取り組んでいる、大切なことの一つです。

そこで、今回教育活動アンケートとして保護者の皆様からいただいたアンケートと児童のアンケート調査結果から、今後の取組や保護者の皆様へのご協力をお願いしたいと考えています。アンケート結果をグラフに表すと次のようになりました。保護者のアンケート内容は「子どもは、家での仕事や手伝いをよくする。(家でのあったか活動)」児童のアンケート内容は、「家で、進んで『あったか活動』をしている」です。

### 家でのあったか活動



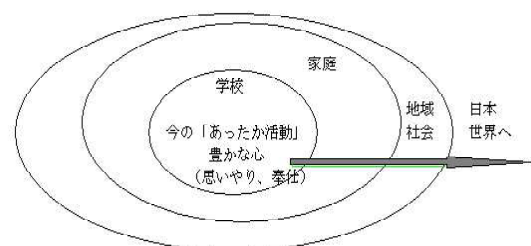
「よく当てはまる」と「している」の割合を合計すると児童が約79%、保護者の方は約73%です。「学校であつたか活動をしている」についての児童アンケート結果は94%ということから考えますと、家ではなかなか進んでできないことが多いと捉えることができます。「あったか活動」の取組についてご理解をいただき、ご家庭での協力を得ながら児童全員が学校でも家庭でも「あったか活動」を進められるようにしたいと考えます。

学校では、次のような子どもの姿を目指して指導しています。

「あったか活動」をしている子どもを見たら、「ありがとう」とあったか言葉をかける。

指導する際、次のことを大切にします。

- 「あったか活動」をしている子どもが、認められる言葉をタイムリーに言ってもらえると次の活動への意欲が高まります。教職員も子どもも互いに「ありがとう」の言葉を伝え合うようにします。その際、「～してくれてありがとう。」のように、ありがとうの理由を加えるようにして、実践への意欲をさらに高めます。
- 朝だけに「あったか活動」を行うという意識をなくし、自分ができる時間、どの時間にもしてよいという意識を高めます。
- 朝の会、帰りの会、道徳の時間や人権教育との関連等、全教育活動において「あったか活動」を通して心を育てるという視点に立ち、子どもを指導します。
- これまで取り組んできた「あったか活動」を基盤として、活動を広げるようにします。学校だより、学年だより、懇談会等で家庭にも「あったか活動」が広がるように呼びかけます。
- 「あったか活動」の取組で、自分の家庭・横田・高岡・日本・世界の将来を担い、そして支えることができる子どもに育つことを意識します。



ご家庭でできる「あったか活動」には、例えば、家での挨拶、階段・廊下・居間等の掃除、洗面所磨き、棚等の整とんや配達、食器洗い・整理、電気の消灯、落ち葉掃き、花の水やりなどが挙げられます。与えたお手伝いではなく、家で子ども自らが進んで取り組む活動を「あったか活動」として位置付け、相手を思いやる心豊かな子どもを、学校と一緒に育てていただければと思います。ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。